

令和6年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ややばらつきはあるもの全学年を通して学習に取り組む意欲が高い。身に付けた知識や技能を自ら考えて作品制作にいかすことができる程度できた。

(2) 課題

- ・与えられた課題に取り組もうとする意欲は高いが、実際の生活や美術文化と関わったり、結び付けたりする力は弱い。

2 授業分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的な美術の表現に必要な「知識」の習得はおおむね満足できる。 ・実践的な学習活動では、「技能」の観点に差が出てくる生徒がいる。	・基礎的な美術の表現に必要な「思考・判断・表現」はおおむね満足できる。 ・作品制作などの学習活動では、差が出てくる生徒がいる。	・意欲的に取り組む生徒が多く「主体的に学習に取り組む態度」はおおむね満足できるがややばらつきがある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的な美術の表現に必要な「知識」の習得にややばらつきがある。 ・実践的な学習活動では、「技能」の観点に差が出てくる生徒がいる。	・基礎的な美術の表現に必要な「思考・判断・表現」はおおむね満足できる。 ・作品制作などの学習活動では、差が出てくる生徒がいる。	・意欲的に取り組む生徒が多く「主体的に学習に取り組む態度」はおおむね満足できるがややばらつきがある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的な美術の表現に必要な「知識」の習得にややばらつきがある。 ・実践的な学習活動では、「技能」の観点に差が出てくる生徒がいる。	・基礎的な美術の表現に必要な「思考・判断・表現」はおおむね満足できる。 ・作品制作などの学習活動では、差が出てくる生徒がいる。	・意欲的に取り組む生徒が多く「主体的に学習に取り組む態度」はおおむね満足できる。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識・技能を表現につなげられるように試す時間をもたうけ、材料や道具を繰り返し使うようにする。 ・作品完成までの工程や技能面でのポイントを具体的に分かりやすく示し、取り組みやすい環境を整える。	・自分の考えや表現に自信を持てるように、鑑賞活動を通して様々な作品や表現の良さを感じさせ、自分なりの完成ができるようにする。 ・タブレット端末や書籍などで案を調べやすいように、取り組みやすい環境を整える。	・実際の生活や美術文化と関連させながら美術作品の見方や楽しみ方などを常日頃から指導していく。 ・学習記録の良い例を示し、積極的かつ計画的に制作できるように常日頃から指導していく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学んだ知識・技能が活用できている実感を持たせて、美術のつくる楽しさやできる喜びを感じられるようにする。 ・作品完成までの工程や技能面でのポイントを具体的に分かりやすく示し、取り組みやすい環境を整える。	・自分の考えや表現に自信を持てるように、鑑賞活動を通して様々な作品や表現の良さを感じさせ、自分なりに構想ができるようにする。 ・タブレット端末や書籍などで案を調べやすいように、取り組みやすい環境を整える。	・実際の生活や美術文化と関連させながら美術作品の見方や楽しみ方などを常日頃から指導していく。 ・学習記録の良い例を示し、積極的かつ計画的に制作できるように常日頃から指導していく。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・日本や世界の美術文化について取り扱い作品への理解や見方を深め、自身の作品制作にいかせるようにする。 ・作品完成までの工程や技能面でのポイントを具体的に分かりやすく示し、取り組みやすい環境を整える。	・自分の考えや表現に自信を持てるように、鑑賞活動を通して様々な作品や表現の良さを感じさせ、自分なりに構想ができるようにする。 ・タブレット端末や書籍などで案を調べやすいように、取り組みやすい環境を整える。	・実際の生活や美術文化と関連させながら美術作品の見方や楽しみ方などを常日頃から指導していく。 ・学習記録の良い例を示し、積極的かつ計画的に制作できるように常日頃から指導していく。